

平成24年9月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成24年2月10日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社 アルファクス・フード・システム
 コード番号 3814 URL <http://www.afs.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 田村 隆盛

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営管理部長

(氏名) 河原 克樹

TEL 0836-32-5161

四半期報告書提出予定日 平成24年2月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年9月期第1四半期の業績(平成23年10月1日～平成23年12月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年9月期第1四半期	451	△20.9	△25	—	△29	—	△24	—
23年9月期第1四半期	570	51.2	△12	—	△16	—	△11	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年9月期第1四半期	△1,071.98	—
23年9月期第1四半期	△505.63	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年9月期第1四半期	1,814	711	39.2
23年9月期	1,996	831	41.7

(参考) 自己資本 24年9月期第1四半期 711百万円 23年9月期 831百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年9月期	—	0.00	—	750.00	750.00
24年9月期	—	—	—	—	—
24年9月期(予想)	—	250.00	—	750.00	1,000.00

(注)直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年9月期の業績予想(平成23年10月1日～平成24年9月30日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	850	△23.4	15	—	7	—	3	—	155.52
通期	2,100	△13.9	60	117.2	45	234.2	22	900.2	977.56

(注)直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年9月期1Q	24,991 株	23年9月期	24,991 株
② 期末自己株式数	24年9月期1Q	3,315 株	23年9月期	2,312 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年9月期1Q	22,505 株	23年9月期1Q	23,165 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 平成23年11月10日に公表いたしました業績予想については、自己株式数の変動に伴い、1株当たり当期純利益を変更しております。なお、その他の業績予想数値については変更はありません。
2. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、【添付資料】3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	2
(3) 業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(3) 追加情報	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	3
4. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第1四半期累計期間	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 継続企業の前提に関する注記	8
(5) セグメント情報等	8
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
(7) 重要な後発事象	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災により影響を受けた経済活動が復興にむけ緩やかに回復の兆しをみせるものの、欧州の債務問題、タイの洪水問題及び長引く円高等により、景気の先行きは依然として不透明な状況が続いております。

当社の主要販売先である外食産業におきましては、原材料価格の高騰が業績を圧迫する一方、お客様の節約志向を背景とした低価格化に関する競争は激しさを増しております。このため、店舗計画の見直しや新規設備投資の抑制を図るなど、当社の事業領域において厳しい状況が続いております。

このような環境のもと、大手外食チェーンを中心に、従来からのASPサービス及びシステム機器を中心とした販売活動を行ってまいりました。また、昨今の生活防衛意識の高まりにより、消費者志向が変化していることへ対応するべく顧客情報サービスを新たな商品として販売してまいりました。

その結果、当第1四半期累計期間の売上高は451,011千円（前年同四半期比20.9%減）となりました。利益面に関しましては、ASPサービス事業の回復の遅れによる売上の減少、システム機器事業における店舗機器入れ替えの一巡に伴う売上の減少により、営業損失25,906千円（前年同四半期は営業損失12,873千円）、経常損失29,295千円（前年同四半期は経常損失16,633千円）、四半期純損失24,124千円（前年同四半期は四半期純損失11,712千円）となりました。

事業部門別の業績は、以下のとおりであります。

当社は、ASPサービス事業を単一セグメントとしておりますが、ASPサービス事業を核として、顧客である飲食店舗にASPサービス事業、システム機器事業、周辺サービス事業を一体として提供しております。

① ASPサービス事業

当事業におきましては、月額サービスの新規顧客獲得及び既存顧客へのサービス拡大に注力いたしましたが、本格的な回復傾向とはならず、売上高は232,014千円（前年同四半期比3.9%減）となりました。月額利用料も3ヶ月累計で221,377千円（前年同四半期比2.7%減）と推移しました。

② システム機器事業

当事業におきましては、既存店舗への機器入れ替えが一巡したこと及び一部の機器に価格の下落が生じた結果、売上高は158,992千円（前年同四半期比41.9%減）となりました。

③ 周辺サービス事業

当事業におきましては、サプライ品、機器修理及び他社商品の販売等を行った結果、売上高は60,004千円（前年同四半期比9.0%増）となりました。

(2) 財政状態に関する定性的情報

① 財政状態の状況

当第1四半期会計期間末における総資産は、1,814,031千円となり、前事業年度末に比べ182,466千円減少いたしました。主な増減は、流動資産では、システム機器事業の売上の減少に伴い受取手形及び売掛金が129,261千円減少いたしました。固定資産においては、工具、器具及び備品12,535千円の減少がありました。また、流動負債では支払手形及び買掛金58,372千円の減少がありました。純資産につきましては、711,607千円となり、120,384千円減少いたしました。主なものは自己株式の取得79,237千円によるものです。

② キャッシュ・フローの状況

当第1四半期累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、営業活動によるキャッシュ・フローにより得られた資金や、投資活動及び財務活動によるキャッシュ・フローにより使用した資金により前事業年度末に比べ66,521千円減少し、当第1四半期会計期間末には578,349千円となりました。

当第1四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第1四半期累計期間において営業活動の結果得られた資金は46,551千円（前年同四半期は得られた資金91,634千円）となりました。これは主に、税引前四半期純損失30,816千円の計上があったものの、減価償却費23,562千円の計上及び売上債権137,953千円の減少があった一方で、たな卸資産28,904千円の増加、賞与引当金12,390千円の減少及び仕入債務58,372千円の減少による資金の減少によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第1四半期累計期間において投資活動の結果使用した資金は18,268千円（前年同四半期は使用した資金17,010千円）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出5,927千円及び敷金及び保証金の差入による支出7,442千円による資金の減少によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第1四半期累計期間において財務活動の結果使用した資金は94,805千円(前年同四半期は得られた資金64,060千円)となりました。これは主に、自己株式の取得による支出79,237千円による資金の減少によるものであります。

(3) 業績予想に関する定性的情報

平成23年11月10日に公表いたしました業績予想から修正は行っておりません。なお、1株当たり当期純利益予想は、自己株式の取得に伴い変更しております。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(3) 追加情報

(会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用)

当第1四半期会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用しております。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

4. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成23年9月30日)	当第1四半期会計期間 (平成23年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	685,171	620,749
受取手形及び売掛金	288,997	159,736
商品	388,030	408,220
その他	48,956	60,185
貸倒引当金	△6,359	△3,498
流動資産合計	1,404,795	1,245,393
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	9,455	11,102
車両運搬具（純額）	0	0
工具、器具及び備品（純額）	164,763	152,227
土地	20,429	20,429
建設仮勘定	84,591	88,473
有形固定資産合計	279,238	272,231
無形固定資産		
ソフトウェア	63,163	58,393
その他	2,445	2,445
無形固定資産合計	65,609	60,838
投資その他の資産		
出資金	136	141
長期前払費用	103,337	103,677
繰延税金資産	34,145	30,782
長期未収入金	123,455	113,489
その他	17,659	24,164
貸倒引当金	△38,040	△42,422
投資その他の資産合計	240,694	229,833
固定資産合計	585,542	562,902
繰延資産		
社債発行費	6,159	5,734
繰延資産合計	6,159	5,734
資産合計	1,996,497	1,814,031
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	148,977	90,605
短期借入金	549,000	549,000
1年内償還予定の社債	60,000	60,000
未払法人税等	15,080	1,095
引当金	16,567	4,177
その他	91,993	113,434
流動負債合計	881,618	818,312
固定負債		
社債	170,000	170,000
長期借入金	100,000	100,000
引当金	12,886	14,111
固定負債合計	282,886	284,111
負債合計	1,164,505	1,102,423

(単位：千円)

	前事業年度 (平成23年9月30日)	当第1四半期会計期間 (平成23年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	535,020	535,020
資本剰余金	143,599	143,599
利益剰余金	322,445	281,311
自己株式	△169,002	△248,239
株主資本合計	832,062	711,691
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△70	△83
評価・換算差額等合計	△70	△83
純資産合計	831,991	711,607
負債純資産合計	1,996,497	1,814,031

(2) 四半期損益計算書
(第1四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成22年10月1日 至平成22年12月31日)	当第1四半期累計期間 (自平成23年10月1日 至平成23年12月31日)
売上高	570,093	451,011
売上原価	439,130	341,713
売上総利益	130,962	109,298
販売費及び一般管理費	143,836	135,204
営業損失(△)	△12,873	△25,906
営業外収益		
雑収入	219	282
営業外収益合計	219	282
営業外費用		
支払利息	2,180	2,118
支払保証料	1,057	623
その他	741	929
営業外費用合計	3,979	3,671
経常損失(△)	△16,633	△29,295
特別損失		
貸倒引当金繰入額	—	1,521
特別損失合計	—	1,521
税引前四半期純損失(△)	△16,633	△30,816
法人税、住民税及び事業税	440	393
法人税等調整額	△5,360	△7,085
法人税等合計	△4,920	△6,692
四半期純損失(△)	△11,712	△24,124

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自 平成22年10月1日 至 平成22年12月31日)	当第1四半期累計期間 (自 平成23年10月1日 至 平成23年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純損失(△)	△16,633	△30,816
減価償却費	23,725	23,562
貸倒引当金の増減額(△は減少)	1,830	1,521
賞与引当金の増減額(△は減少)	△9,836	△12,390
退職給付引当金の増減額(△は減少)	823	1,224
支払利息	3,588	3,246
売上債権の増減額(△は増加)	△94,489	137,953
たな卸資産の増減額(△は増加)	35,486	△28,904
仕入債務の増減額(△は減少)	121,212	△58,372
その他の流動資産の増減額(△は増加)	8,037	6,285
その他の流動負債の増減額(△は減少)	29,138	17,021
その他	538	531
小計	103,421	60,863
利息の支払額	△2,994	△1,329
法人税等の支払額	△8,792	△12,982
営業活動によるキャッシュ・フロー	91,634	46,551
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△14,910	△5,927
無形固定資産の取得による支出	—	△3,000
定期預金の預入による支出	△2,100	△2,100
敷金及び保証金の差入による支出	—	△7,442
その他	0	201
投資活動によるキャッシュ・フロー	△17,010	△18,268
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	404,000	414,000
短期借入金の返済による支出	△324,000	△414,000
自己株式の取得による支出	—	△79,237
配当金の支払額	△15,939	△15,568
財務活動によるキャッシュ・フロー	64,060	△94,805
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	138,685	△66,521
現金及び現金同等物の期首残高	460,077	644,871
現金及び現金同等物の四半期末残高	598,762	578,349

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

当社は、ASPサービス事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

自己株式の取得

当社は、当第1四半期会計期間において、平成23年12月15日開催の取締役会決議に基づき、自己株式を1,003株（総額79,237千円）取得いたしました。この結果、当第1四半期会計期間末における自己株式は3,315株（総額248,239千円）となっております。

(7) 重要な後発事象

該当事項はありません。